

久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会 令和元年度 第2回会議 会議要旨

日時	令和元年11月14日(月) 19:00~19:40
場所	久留米医師会館 教室1
出席者	<p>委員：松本会長、古村副会長、岡委員、杉本委員、真木委員、大久保委員、重永委員、山田委員、後藤委員、吉永委員、縄崎委員、岩坂委員、豊福委員、中園委員、佐藤委員</p> <p>事務局：・長寿支援課 野口課長、小山補佐、古賀補佐、合戸補佐、山田、上野 ・介護保険課 柴尾課長、田原主幹、庄村補佐、淵上主査、城戸</p>
欠席者	今里委員、柴田委員、濱本委員、永江委員、永野委員、堀委員
傍聴者	なし
議事次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事 報告(1) 第8期計画の策定に向けた各種調査の実施について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
議 事	
<p>1 開会 ＜事務局＞</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事 報告(1) ＜会長＞</p> <p>＜会長＞</p> <p>＜委員＞</p> <p>＜事務局＞</p>	<p>これより、令和元年度第2回計画推進協議会を開催いたします。</p> <p>(松本会長より開会挨拶)</p> <p>3議事 報告(1)「計画策定に向けた各種調査の実施について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局より資料に基づき説明)</p> <p>今の説明について、委員の皆様より何か質問はないですか。</p> <p>用語の定義ですが、インタビューとありますが、アンケートという言葉は馴染んでいますが、統一的に用語を使ってもらえるのか、お伺いしたい。</p> <p>資料3の表の調査は、いわゆるアンケート形式、丸を付けて選んでいく形で行います。資料裏面の利用者インタビューは、それぞれ地域、事業者のみなさま、活動されているところに、市職員や業者が伺い、どういう活動をされ、その中でどういった部分に困っているとか、もっとうしろならいいのではということ、直接お話をしながら、見えてくる課題や、今後取り組んでいくべき事業などの検討につなげていければと考えています。</p>

<委員>	わかりました。ありがとうございます。
<会長>	ほかに何かありますか。ここをこうしたらということでも結構です。
<委員>	調査項目の70問はすごく多いと感じますが、オプション項目はつけなくてもよかった部分を久留米市が行うということですか。
<事務局>	<p>必須項目とオプション項目の違いですが、基本的には、必須項目もオプション項目も国が指示している項目です。必須項目は、国が必ず実施をお願いしたいという項目で、オプション項目は付加しての調査ではありますが、両方の調査は全国的に実施しているものです。類似の都市での取組みの状況や、前回調査との比較の中で、久留米市の取組みが3年経った時にどういう形で変化があったのか、活動している人と、活動していない方で差異が出てくるのかという点を確認するため、前回3年前の調査につきましても、オプション項目も含めて実施しています。</p> <p>確かにご意見の通り、高齢者にとって70問というのは負担も大きいのは承知していますが、3年に1回、数多くの高齢者の状況を把握するという機会を通じて、なるべく多くの情報を把握できればということで、前回に引き続き今回もオプション項目も含めて実施したいと考えております。</p>
<委員>	ありがとうございます。アンケートの内容について、回答は選択ではなく、記入をするのか。
<事務局>	回答は基本的にはすべて選択方式になります。
<委員>	ありがとうございます。なるだけ皆さんが読んで終わらないアンケートにしてもらえればと思います。よろしくお願いします。
<会長>	大変重要なところだと思います。アンケートは集まらないと何の意味もない。何か他にありますか。
<委員>	回収率はどれくらいを目指していますか。
<事務局>	回収率は、前回調査がおおむね75%。回収率が低いと調査の信頼性にも関わってくると思いますので、できれば前回に続き、70%台の回収を目指していきたいと考えています。
<委員>	利用者インタビューの実施について、実施団体数が3団体程度、介護予防や認知症カフェ等の団体と利用者にインタビューするとありますが、インタビューは対象者の本音が出て、親身に話を聞くといろいろな情報が得られるので、3団体では少ない気がします。市でも地域福祉計画とか活動計画を一体的に上位計画として作る時に、たくさんの団体にインタビューしています。すごく効果があると思います。
<事務局>	ご質問ありがとうございます。利用者インタビューは、市と業者で聞き取り、結果等の集約等を行うということで、3団体程度としておりますが、ご意見のとおり、より多くの団体の活動されている当事者、利用者の声を聴くというのは非常に大事なことだと思っておりますので、なるべく増やせるよう検討したいと考えております。
<委員>	社会福祉協議会を利用していいと思いますのでよろしくお願いします。協力します。

<p><会長></p>	<p>確認ですけど、認知症カフェは市内にいくつかありますが、全部回るわけではないのですか。</p>
<p><事務局></p>	<p>いくつか活動されている中で、どこを選ぶかは難しいところですが、地域で介護予防活動されている団体をひとつ、認知症カフェをされている団体からひとつ、介護サービスを提供されている事業者と利用者への聞き取りをひとつで、三つの団体に聞き取りとなると、1時間2時間、もうちょっと話が盛り上がりれば話が長くなるということも踏まえ、現時点では3箇所を検討しているところです。</p>
<p><会長></p>	<p>みなさまのご意見としてはどうでしょうか。</p>
<p><委員></p>	<p>認知症カフェは確か集まりを定期的に行っていると思うので、そこにはいくつか認知症カフェが出てきているはずなので、そこに行くのが、一カ所に限定するよりいいのではと思います。</p>
<p><会長></p>	<p>今のご意見はどうか。意見は多数がいいのは当たり前の話です。全部回るのだろうと思っていましたが。</p>
<p><事務局></p>	<p>ご意見の通り、数多く行った方がよいのですが、相手方があり、また予算もあります。前回の計画策定時には、デイサービスの事業者を3つ回り、合計20名の方にご意見を聞いています。そのご意見を協議会の中でお話をさせていただいて、どういう施策が必要かを検討していただいたという状況です。今回も前回の例に倣って、3団体程度ということにしていますが、対象は同じ方ではなくて、介護予防で運動されている高齢者、認知症カフェで特に当事者がいるところに直接行って、ということがやれていて、どういうことが必要なのか、ご意見をいただければなどということで、色々な種類というところで3つくらいと考え、提案しております。ただ、ご意見がございましたように、もう少し増やせないか検討させていただきます。また、地域福祉計画でいろんなインタビューや団体のヒアリングを行い、計画を策定しており、その中には高齢者の分野に特化した課題も見えていると思いますので、今の調査に加えて、協議会の中で提案できないか検討したいと思います。</p>
<p><会長></p>	<p>ほかに何かありますか。</p>
<p><委員></p>	<p>質問ですが、調査は久留米市全体としての調査、統計、集計を行うのですか。</p>
<p><事務局></p>	<p>久留米市には、11の圏域があり、その中で5,000部を送る際に、圏域ごとの人口、高齢者数等に合わせて、圏域によって人口の多い少ないがありますので、人数の状況に合わせて無作為抽出で、年齢構成と各圏域の人数バランスを見たところで抽出し、調査を実施したいと考えております。</p>
<p><委員></p>	<p>地域によって問題、課題というのは結構違ってくると思っています。是非、地域で何が突出している問題なのか分析すると、30万人の、旧久留米市やそれ以外で、地域の問題点は違ってくるのかなと、それを把握する良い契機かなと思ったところでは。</p>
<p><会長></p>	<p>大変重要なポイントだと思います。厚労省が言うからではなく、久留米市の課題を考える、進めていくことが非常に重要です。先ほど、3年前にインタビューを実施したという説明でしたが、3年すると事業所も変わってきます。3年前のデータをまた利用するのは基本的におかしいです。だから、別のところにしますという説</p>

	<p>明がありました、事業所が変わったからいいという考え方はだめだと思います。</p>
<事務局>	<p>事業所を変えたいのではなく、サービスの利用者だけを前回3団体行っており、今回はサービスの利用者だけではなく、実際、介護予防で活動されている方や、そういう方にも何らかの課題があったりとか、お元気そうだが、目に見えない課題があったりということ調査出来たらと考えております。</p>
<会長>	<p>それは分かりますが、今の問題点は、母数が少ないことです。データの信頼性を上げるためにも検討してもらいたいです。</p>
<事務局>	<p>いくつとは言えませんが、できるだけ数自体は上げていきたいと思っております。</p>
<会長>	<p>前向きに考えていただければ。</p>
<事務局>	<p>はい。先ほどの地域福祉計画の策定の際に出されているものについても、協議会でテーブルに乗せて、みなさんにご検討をお願いしたいと思います。</p>
<会長>	<p>よろしくお祈いします。ほかは何か。</p>
<委員>	<p>あと一点。調査結果の集計、統計のソフトはあるのですか。</p>
<事務局>	<p>この調査は、前回から全国一律に調査結果を国のシステムに登録して、比較できるようにしております。この国のシステムを使いながら、圏域ごとに課題が違うところ、久留米市と似たような人口規模で都市部の30万都市と久留米市、久留米市の中でも中心部、周辺部というところで、どういった困りごとであったり、運動の傾向であったり、どういったところが違うのか、比較できるようにしております。委託業者のノウハウも活用しながら、来年度の計画策定をお願いする予定ですが、事業を考えていく中で、課題が見えていくよう、分析等進めていきたいと考えております。</p>
<委員>	<p>見える化システムとは別に行うのですか。</p>
<事務局>	<p>見える化システムに登録した情報を使いながら、あくまで分析自体は数字として出ますので、その中から原因等は、市や委託業者を使い、何を課題として見つけていくのかという点を調査、検証、考察していきたいと考えております。</p>
<会長>	<p>ありがとうございました。ほか何か。</p>
<事務局>	<p>是非とも委員の皆様にご協力をお願いしたい件がございます。先ほど提案しましたグループインタビューですが、委員の皆様と一緒に同席してもらい、直接グループインタビューする中で意見を聞いてもらう場にさせてもらえないかと思っております。お一人でもお二人でもその場にいてもらい、こういう意見が実際にあったということを協議会でご提案いただければ、その場が会議に活きるのです、是非、協力をお願いできないかと思っております。</p>
<会長>	<p>ご提案についてなにかご意見があれば、みなさん賛成ということでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、報告については以上です。その他について何か。</p>

<p>4 その他 <事務局></p> <p><会長></p>	<p>来年度のスケジュールにつきまして、具体的なところは未定ですが、計画策定の年になります。まずは年度の早い段階で、調査結果の報告を予定しております。また、国の動向も報告し、合わせて、計画の進捗状況等を前半までに報告して、中盤からは8期計画の大きな柱等を協議して、年末、年明けにかけて、計画案を詰めていきたいということで、協議会を計5、6回程度開催させてもらう予定にしています。昨年度や今年度に比べますと、委員の皆様にはご負担をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願いたします。</p> <p>何かご意見はありますか。なければ事務局に進行を返します。</p>
<p>5 閉会 <事務局></p>	<p>松本会長、司会進行ありがとうございました。以上をもちまして、令和元年度第2回計画推進協議会を終了します。</p>